

## 申4号「2022年3月ダイヤ改正」に関する検証申し入れ 団体交渉行う!

1. ハ戸運輸区における1つの行路内での運転士・車掌業務の融合についての成果と課題を明らかにし、次期ダイヤ改正では、行路内の運転士・車掌業務の切替は運転士から車掌の1回とすること。

回答 担当業務間の相互運用を行うことにより、今後も安全とサービスの向上及び効率的な乗務員運用を実現していく。

【主な確認事項】・会社 ★組合

- ・1つの行路内に限らず、運転士・車掌の相互運用業務を行うということで社員の成長に繋がっている。それに伴って安全・サービスの向上に繋がっていると認識している。大きい課題は無いと認識している。
- ★我々も実測して、ダイヤ改正直後は平均27分、11月にも行い15日分の平均23分半である。
  - ・結論としては準備時間は足りているというところに至っている。
  - ・個人貸与や準備時間でカバンに詰める作業など検討できる余地はあると考えている。
- ★運転士・車掌と一つの行路で切替を1回にすればリスクは軽減する一つの要素にはなり得ると問題意識の中での要求だ!
  - ・切替が多いから安全が担保されないとは考えていない。
- ★今ダイヤ改正で切替が2回になったから来年も2回でやる、絶対にこうあるべきだというスタンスではないということか。
  - ・その通りであり、都度見直す。現場の声をすべて優先するわけではないが、必ず聞くことはある。

2. 車掌業務における「出場5分前」の実態を明らかにし、次期ダイヤ改正では、「出場10分前」を基本とすること。

回答 就業規則等に則り取り扱うこととなる。

【主な確認事項】・会社 ★組合

- ・「出場5分前」とあるが、ある程度余裕を持って行っている車掌が多いと思っている認識だが、「5分前」という会社の業務指示となる。
- ★会社が考える必要最低限の確認と現場もそれで良いのであればやるが、それ以上見なければならぬ現実もある。10分前出場にしてほしいという要求になる。
  - ・その時間で足りていると認識している。
- ★必要最低限やらなければならない項目は車掌標準集に載っている項目で良いのか。
  - ・基本的には標準集に記載されている項目となる。
- ★盛岡支社は5分前で、仙台支社は7分まであり違いは何か。
  - ・支社によって車種も異なり支社の特状とかも当然あるので、違いが出ている。指示している内容も違う。
- ★会社として全支社バラバラな現実の問題意識としてあるのか。
  - ・そのような問題意識は持っていない。
- ★更に5分前にいけば安全・安定輸送をさらに向上できる、安全・サービスの向上が図れる思いで、早く行ってしまっている現実があるのでそこがスタートラインだ。
  - ・列車を遅らせないで基本動作、作業をしっかりやって頂いている認識をしている。

## 1項・2項ともに次期ダイヤ改正で改善して欲しいと要求!